

2022年3月18日
株式会社日本政策金融公庫

地域金融機関CLOを発行

～23の地域金融機関と連携し、中小企業者向け無担保資金供給の円滑化を支援～

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）中小企業事業は、本日、地域経済活性化の担い手となる中小企業者への無担保貸付債権を裏付けとするCLO（貸付債権担保証券）を発行しました。本CLOは、中小企業者への無担保資金の円滑な供給を目的に、地域金融機関、日本公庫及び機関投資家による証券化手法を活用した連携商品です。

組成規模は、貸付債権額ベースで343.23億円（昨年度170.04億円）、貸付社数ベースで1,712社（昨年度800社）、参加金融機関ベースで23機関（昨年度14機関）と、昨年度から大幅増となりました。

背景としては、コロナ禍長期化に伴い、担保に依存しない資金繰り支援ツールとして、地域金融機関の利用ニーズが高まっていること、運用難の環境下、相応の利回りを確保できる商品として、機関投資家の投資ニーズが高まっていることなどが考えられます。

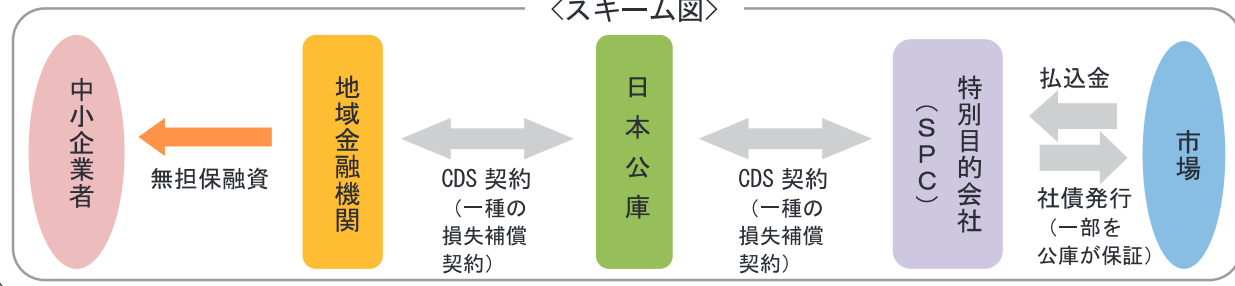
なお、本CLOは、SDGs^(※1)への貢献などが評価され、4年連続でソーシャルボンド評価^(※2)を取得しております。

日本公庫は、国の施策に基づく政策金融機関として、今後とも証券化手法を活用して、地域金融機関による中小企業者への無担保資金の円滑な供給を支援して参ります。

■ 今回のCLO（シンセティック型^(※3)）の概要

- ◆ CLO発行日：2022年3月18日
- ◆ 発行会社：合同会社クローバー2022
- ◆ 当初貸付債権総額：343.23億円（CLO発行額：334.46億円）
- ◆ 貸付社数：1,712社
- ◆ 地域金融機関：山形銀行、七十七銀行、北陸銀行、清水銀行、十六銀行、筑邦銀行、福島銀行、栃木銀行、（計23機関）
北海道信用金庫、旭川信用金庫、帯広信用金庫、かながわ信用金庫、城南信用金庫、
瀧野川信用金庫、多摩信用金庫、高山信用金庫、長浜信用金庫、大阪信用金庫、
大阪シティ信用金庫、大和信用金庫、姫路信用金庫、熊本信用金庫、青森県信用組合
- ◆ A号社債：190億円（AAA）、利率0.30%、機関投資家が購入
- ◆ B号社債：83.46億円（A+）、利率は非公表、日本公庫が購入
- ◆ C号社債：61億円（AA+）、利率0.29%、機関投資家が購入（日本公庫が元利金を全額保証）

＜スキーム図＞



(※1) SDGs 目標8「働きがいも経済成長も」、17「パートナーシップで目標を達成しよう」への貢献などが評価されました。
 (※2) R&I（格付投資情報センター）が、本スキームの社会貢献性などを評価したものです。本件は、SDGs 目標への貢献に加え、地域金融機関を通じた中小企業者の円滑な無担保資金供給などによる地域活性化効果が評価されました。
 (※3) 今回実施するシンセティック型とは、証券化対象の貸付債権を譲渡することなく、クレジット・デフォルト・スワップ（CDS）契約により、貸付債権の信用リスクのみを特別目的会社（SPC）に移転させ、証券化を行う手法です。